

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 28日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒210-0855

住 所 神奈川県川崎市川崎区南渡田町1-1

氏 名 J F E コンフォーム株式会社
代表取締役 城戸 章

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 044-355-7221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	建設業：J F E コンフォーム株式会社
事業場の所在地	〒210-0855 神奈川県川崎市川崎区南渡田町1-1(現場：市川市、佐倉市、松戸市)
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 3,786百万円
③ 従業員数	90人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 → 破碎 → 再資源化 木くず → 破碎 → 再資源化 廃プラ → 破碎 → 再資源化 金属 → 破碎 → 再資源化 混廃 → 破碎 → 再資源化

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

J F E コンフォーム(株)社長→建設部→建設工事グループ→産業廃棄物処理業者
 " → 保全センター→保全企画部→産業廃棄物処理業者
 " " →医療施設グループ→産業廃棄物処理業者
 " " →緑化グループ →産業廃棄物処理業者
 " → 仙台事業所→仙台工事グループ→産業廃棄物処理業者
 " → 阪神事業所→阪神工事グループ→産業廃棄物処理業者
 J F E コンフォーム(株)社長 →安全環境管理部→J F E シビル(株)安全衛生環境管理部

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	排出量	1509.73 t	160.47 t
	(これまでに実施した取組) ・施工計画の中で再利用等考慮した計画書の作成実施を指導している。 ・工事計画の中で、搬出抑制を考慮し、再生資源の利用等実施を指導している。 ・工事における資材納入の過剰梱包を避ける事と梱包材の再利用を指導している。 ・建設リサイクル法の教育の実施。 ・有価物の選別を適切に行い、産業廃棄物としての委託量を削減する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	排出量	1200 t	128 t
	(今後実施する予定の取組) ・施工計画時発生材の再利用を計画に入れ、顧客に承認を得て再利用を推進する。 ・資源循環型社会の構築を図るため、コンクリート・アスファルト・木材等はリサイクル施設のある中間業者との委託契約を実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・計画時に分別の有無の確認を行い、分別する事を教育している。 ・分別容器には産業廃棄物の種類を明示し、分別の徹底を図っている。 ・全発生排出量に対して混合廃棄物の割合を抑制する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・限られた敷地内での工事において、工事進捗に伴う置場配置を考慮する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	1509.73 t	160.47 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1488.37 t	114.13 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	1200 t	128 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1180 t	100 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・信頼のおける処理委託業者と一体となり産業廃棄物の分別と排出抑制・再利用等を実施する。 			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	混合廃棄物	蛍光灯
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	混合廃棄物	蛍光灯
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	混合廃棄物	蛍光灯
	全処理委託量	20.15 t	38.99 t	1.77 t	12.9 t	103.65 t	0.34 t	875.61 t	0.02 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	17.4 t	38.99 t	1.77 t	12.63 t	103.49 t	0.28 t	66.29 t	0.02 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	混合廃棄物	蛍光灯
	全処理委託量	15 t	30 t	1.5 t	10 t	80 t	0.25 t	700 t	0.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	13 t	30 t	1.5 t	10 t	80 t	0.25 t	630 t	0.01 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t